

内村介護士
絶妙セトク
ひみつうな
ホイップル
焦りの表情?

(潮寿荘)
90歳以上
19名
最高齢 97歳
米寿 1名
喜寿 2名



この体勢をキープするのは苦しい!!
...にもかからず、ずっとこの体勢

潮寿荘 石岡榮子

平成29年10月15日発行
発行: 特別養護老人ホーム
潮寿荘
記事: 10月担当潮寿荘職員
編集: 潮寿荘だより編集委員
題字: 石岡榮子(86歳)

9月15日、利用者さんの長寿とご健康をお祝いする行事、**敬老会**が潮寿荘、はこだてっちょ+ご家族25名合計百人位の参加で行われました。90歳以上と米寿や喜寿等の祝い年の利用者さんには赤い帽子とちゃんちやんこを着ていただきスタンバイ完了。敬老会の始まりです。国歌斎唱から始まり、職員お手製お祝い色紙を贈呈。笑顔で受け取る利用者さん。そして眞佐子さんの元気な「かんぱーい!」の音頭と共に会食スタート。厨房の腕によりをかけたご馳走の数々に皆さん口々に「美味しいね」と。厨房の腕によりをかけたご馳走の大合唱。お腹も満腹になつた所で職員による余興が始まります。まずは施設長による珠玉の芸『南京玉すだれ』なんの変哲もないすだれが魚釣り竿や戸井のマグロに早変わり。華麗な極技に(おそらく)魅了され

太巻き、いなり、エビフライ・根菜甘酢
焼きとり(3種)、卵サラダ・フルーツなど…



た皆様にさうに追い打ちをかける「はこだてっちょ」職員による流麗な舞踊『おてもやん』に一同感動(たぶん)。最後はダメ押しの潮寿荘職員7名による『組体操』。私もホイップルで号令を出す役として参加。ピーー! 会場に木霊するホイップルの音と共に一糸乱れぬ組体操を披露する隊員たち。ピーー! 肩倒立。ピーー! 二

人とんぼ。ピーー! 腕立て。次々と

見事な技を披露する隊員たち。すると突然。ヒューチュヒューチュ。今まで痛快な音を響かせていたホイップルから聞こえてくるのは氣の抜けた空氣音。何度も吹いても全く音がない。このままでは隊員たちが練習に練習を重ねた汗と涙の結晶の組体操をダメにしてしまう。焦る自分。一向に音の出ないホイップル。もうダメだと諦めた瞬間。まさに神のご加護。北川相談員が隊員への応援のために舞台に登場。ゆずの「栄光の架橋」を勝手に熱唱。この隙に私は舞台袖へ。ホイップルに何か詰まらせたに違いない。舞台袖でホイップルを思いっきり振る私。何も出てこない。「もう駄目だよ♪」咄嗟に私はメモ紙をちぎってコヨリ状にして吹き出し口へ挿し込む。格闘すること数分。するとカラッとホイップルの中から音が。見るとそこにはクリップが。クリップを取り出すのとほぼ同時に相談員の歌が終了。ピーー! 私のホイップルは生氣を取り戻し組体操続行。隊員らによる見事な技の数々は満場の観衆を(たぶん)虜にしました。

なにはともあれ今年の敬老会も無事終了。皆さん長寿を願うと同時に今回の件で(もしかしたら)私の寿命が数分縮まったのではないかつている今日この頃です。(笛をポケットに入れた時にクリップが入ったに違いない介護士・内村)

到着してまもなく始まつた全校生徒による合唱もとつても力強い歌声で入居者の皆さんも聞き入つておられ、歌い終わると大きな拍手が起こりました。最後の閉会式でも生徒個人の余興披露があつて失敗しても「頑張れ!」と応援する声が飛び交つていました。こんな子ども達が将来、潮寿荘で働いてくれたらどんなに頼もしいかなうと思ひながら帰つてきましたが、本当に子ども達にとつて大きな実りを手にしたと思います。



戸井の未来へ パワーアップ全開

北海道の短い夏も終わり、実り多い秋を迎える、先日9月30日、地元『潮光中学校』の学習発表会

午後のリハビリ・体操クラブ?

柏原施設長の「体操やつてよ…」の緩いような強い意志・号令により始められたのが午後の『みんなの体操』です。午後1時40分位から約10分、週5回程度行っています。これはご存じの『ラジオ体操』なのですが、潮寿荘では『座つて行う』版で体操しており、実際に座つて行つてみると椅子の肘掛けが結構邪魔に感じられるなどやって気付かされることがあるものです。さて、体操の時間が近づき、私がホールに出て行くとハルさんは「ほらもうすぐ体操始まるよ…」と周りの方に言つてくれたり「この場所じゃ腕がぶつかるよ…」などと阡子

さんが気遣つてくれたりと普段と違つたコミュニケーションのもと体操を行つてます。入浴や、食後の睡魔?による休養で、参加者は10~20名程度と日によって異なりますが出来るだけ意欲を持つて頂き、自らカラダを動かすことにより少しでも入居者様の身体機能が維持出来ますように:と考えながら体操を行わせて頂いてます。この時間に来荘される機会がありましたら一緒に体操されると入居者様の意欲も高まるのではないかと思いますので宜しくお願ひ致します。

A portrait of an elderly woman with dark hair and glasses, wearing a red patterned scarf. The photo is framed by a decorative border.

先日、夜勤をして
いた時、ナースコ
ールに応えてお部
屋へ行くとクリス
さんがベットの上

で体育座りをして天井を見上げていました。まるで幽霊がいたかのような表情で見上げていたので恐る恐る天井を見ると大きなクモがゆっくりと下りてきて私は「わーっ、わーっ、あっ、わああああ！」と思わず声をあげてしましました。それにつられてクリ子さんも叫んでいました。

その夜は、無事にクモを除去して東なきを得ましたが、それから後は「クモも恐かったけれど、クモに驚いた

A portrait of an elderly woman with short, light-grey hair. She is smiling and making a peace sign with her right hand. She is wearing a dark green top. The photo has a yellow decorative border.

あるお天気の日。久美子さんを散歩に誘い断られても「美しい花が咲いているから」と再度プッシュし「花なら見に行く」と一緒に散歩に行くことになりました。花好きの久美子さん。「あら、良い花咲いてる」と笑顔に、「花の名前を教えてくれます。

散歩の後、私たちは隣のサ高住『はこだてつ潮』に見学に行くことにしました。エレベーターを降り「ずいぶん立派な所だねえ」としばらく外の景色を眺めていると「あれえ、久美子さん」と潮寿荘からはこだてつ潮に移った臼渕介護士が声をかけてきて「どこかで見た顔だねえ」と会話も弾みました。そしてオロナミンCを一気に飲んで大きなグップをされ「また来るね」と笑いながら潮寿荘に戻ってきました。「たまに散歩に出れば楽しいね」と言われ私も嬉しくなりました。

(犬を2匹飼い犬系ぜんそくが判明。家では呼吸難の介護士・T佐々木)